

Title	大規模チェーンストアの事業部制マネジメント
Sub Title	
Author	足立憲昭(Adachi, Noriaki) 伏見多美雄
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1981
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001981-0120">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001981-0120</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名 足立憲昭 主査 伏見多美雄 教授  
(ジャスコ株式会社) 副査 柴田典男 助教授  
所属ゼミナール 伏見多美雄 研 柳原一夫 助教授

## 大規模チェーンストアの事業部制マネジメント

この論文は、大規模チェーンストアのマネジメント・システムのあり方を、主としてG社の事例を中心にしながら、研究したものである。

G社は、「連邦制経営」と呼ばれるマネジメント・システムを軸にして、積極的な合併・業務提携を行ってきた。この「連邦制経営」は、集中と分散の両方のメリットを生かすことを目標にした、同社の基本的な経営方針である。

大規模チェーンストアが、全国への地域的拡大と新しい事業への多角的拡大とを旨として成長しようとする時、分権化の進んだマネジメント・システムの導入が不可欠となってくる。

このような分権化が進む段階で遭遇する3つの問題点、つまり“商品仕入れの分権”“店舗開発の分権化”、“新しい事業開発の分権化”という3つの問題に焦点を当て、それぞれについて、実態分析と理論的な研究を行なった。この時、競争企業であるA社、B社との比較検討も行なった。

以上のような研究や検討の結果から、次のマネジメント・システムを提案している。

(1) 本部の機能としては、次の3つとする。

- ① 経営ノウハウの蓄積と提供、② 資金の調達と貸付、③ 本部政策の実行
- (2) 複数の事業部を統括するブロック本部の機能としては、次の3つとする。
  - ① 商品仕入と事業部への商品供給、② 店舗開発と事業部への店舗賃貸、
  - ③ ブロック本部政策の実行

(3) 各事業単位の業績管理の方法としては、次のとおりとする。

ブロック本部を“投資利益管理単位”にし、事業部とその傘下の店を“売上利益管理単位”にするとともに、それぞれに見合った評価システムを導入する。